

第1回ワークショップのご報告と次回のご案内

～10年後、今より住みやすいと思える三倉にするために～

第1回ワークショップのご報告

第1回ワークショップでは、三倉地区のみなさんと地区の健康状況について話し合いました。

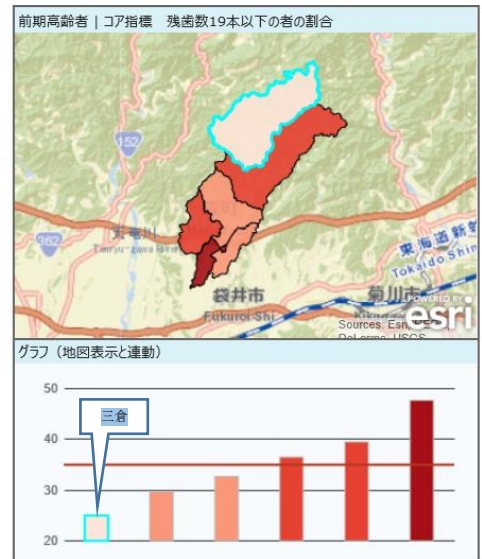
まず、「健康と暮らしの調査」の結果を地図上で表し、三倉地区の健康状況について、歯の本数がどの程度残っているか、認知症の状況、運動できるかなど、さまざまな指標を他の地区と比較しました。

三倉地区では、歯の本数に関する指標が6地区の中で一番良く、一方、認知症に関する指標は6地区の中で最下位ということがわかりました。

こうした結果を見ながら、その理由をみんなで考えてみたところ、以下のような意見がでました。

- ・家が離れていることや一人暮らしなどが多いことから、認知症が多いのではないかな。
- ・閉じこもりの割合も高かったことから、閉じこもりが原因で認知症が多いのではないかな。

残歯数10本以下の者の割合



⇒三倉地区では、そのような人の割合が低く、最も良かった。

次回ワークショップのご案内

第2回ワークショップは、第1回ワークショップをふまえて「歯の状態は他の地区より良い」「認知症は他の地区より良くない」といった結果の理由をより深く考えるために、地域にどのような資源があるかについて考えていきます。

ワークショップ前半では、三倉地区では他の地区と比べ、どのような地域資源や社会活動が多いかについて、地図上で見ていきます。

例)

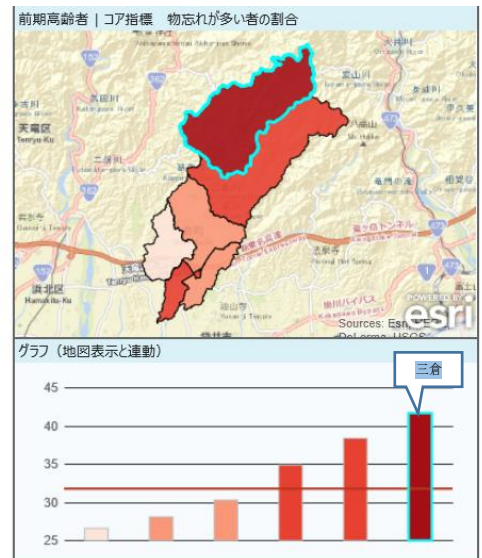
- ・社会参加するための居場所
- ・歯科医院
- ・趣味の会やグループに参加する人の割合
- ・スポーツの会やグループに参加する人の割合

ワークショップ後半では、前半の結果をふまえて、より具体的な健康づくりの取組について、みんなでアイデアを出し合っていきます。

例)

- ・三倉総合センターやみやま荘を活用したコミュニティづくり
- ・茶業との組合せによる社会活動
- ・介護予防のための体力づくり活動

物忘れが多い者の割合



⇒三倉地区では、そのような人の割合が高く、最も良くなかった。

次回の第2回ワークショップの日時・場所

日時：平成30年1月12日（金）午後7時～

場所：三倉総合センター 2階会議室

事前の申込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

